油長内蔵運営協議会企画

越ヶ谷蔵物語 プロローグ 第1章

2019年4月3日(水)～5月29日(水)

プロローグ〈 越ヶ谷の街並みと蔵 〉　4月3日(水)～4月14日(日)

第1章　油長内蔵

第1話〈 山崎家の歴史と内蔵 〉　4月18日(木)～5月6日(月・祝)

第2話〈 山崎家と平田篤胤 〉　5月10日(金)～5月29日(水)

この度、越谷市市民活動支援センター内越谷市展示コーナーでは、油長内蔵運営協議会による展示『越ヶ谷蔵物語』を開催します。

越ヶ谷宿越ヶ谷町は、南北に通じる日光街道（道中）を挟んで、東西に「ウナギの寝床」（短冊形土地割）に店・住まい・蔵が立ち並ぶ賑やか宿場であり、近隣の農村地域の中心・町場でありました。その越ヶ谷を長く見守ってきた蔵を通じて、越ヶ谷をもっとよく知りたいと、『越ヶ谷蔵物語』を企画しました。今回はその〈プロローグ〉と〈第1章 第1話・2話〉を展示します。

プロローグでは、まず、明治時代の越ヶ谷の街並みを鳥瞰し、大店呉服店だった萬壽屋の母屋の鬼瓦（実物）を据え、今は無き昔の越ヶ谷のパワーを偲びます。賞品のないクイズもあります。

第1話・2話では、かつて越ヶ谷本町の油長・山崎家のもので、今は越谷市のものとなっている「油長・内蔵」を取り上げます。第1話は「山崎家の歴史と内蔵」と題し、山崎家の家業（油長の前は釘屋長右衛門だった？）、内蔵の半生と、そこに残っていた意外な珍品を展示します。第2話は「山崎家と平田篤胤」。篤胤の本の出版に際し、著者に代わり山崎長右衛門篤利が伊勢神宮の文庫に献納した際の受領書（長く行方知れずでしたが、この度発見）を中心に、油長・山崎家と篤胤を見直します。

協力：山崎家、株式会社中央住宅、染谷コンクリート代表取締役 染谷隼生様

◆ 5/4（土）5（日）の甲冑めぐりでは、「まちづくり相談処 油長内蔵」にて、山崎家ゆかりの貴重な品々を公開します。時間：午前10時～午後5時　お問合せ：油長内蔵（越ヶ谷三丁目2-19-5　電話080-9558-5821）